

|   |       |  |
|---|-------|--|
| 系 | 統     | 2成分型ポリブタジエン系シーリング材   |
| 特 | 長     | 1) 低モジュラスであり、伸縮追従性に優れる。<br>2) 流し込み作業に適した流動性を有する。   |
| 用 | 途     | 1) 鋼製伸縮装置の非排水化用目地材   |
| 配 | 合 比   | 主 剤：硬化剤 = 1 2 : 1 (重量比)  |
| 荷 | 姿     | 2 kg セット (主 剤 / 1. 8 4 6 kg、硬化剤 / 0. 1 5 4 kg)<br>1 0 kg セット (主 剤 / 9. 2 3 kg、硬化剤 / 0. 7 7 kg) |
| 外 | 観 性 状 | 主 剤…黒色粘稠液状<br>硬化剤…淡黄色透明液状<br>混合物…黒色粘稠液状  |

## 可使時間の目安

| タ イ プ             | 通 年 用 |     |       |     |
|-------------------|-------|-----|-------|-----|
|                   | 5     | 1 0 | 2 0   | 3 0 |
| 温 度 [°C]          | 5     | 1 0 | 2 0   | 3 0 |
| フィンガーシール促進剤 [ビン]* | 2     | 1   | 使用しない |     |
| 可 使 時 間 [分]       | 4 0   | 3 0 | 4 0   | 3 0 |
| 指 触 乾 燥 時 間 [時間]  | 5     | 4   | 4     | 3   |

※促進剤の荷姿が1kgプラスチック容器の場合の使用量は、フィンガーシール促進剤の製品説明書を参照すること。

|   |                 |  |
|---|-----------------|--|
| 比 | 重               | 1. 0 5 ± 0. 1 0 (硬化物)  |
| 貯 | 蔵 保 証 期 間       | 9か月 (未使用、冷暗所保存)  |
| 消 | 防 法 に よ る 区 分   | 主 剤 危険物 第4類 第4石油類<br>硬化剤 危険物 第4類 第3石油類   |
| 毒 | 物 及 び 劇 物 取 締 法 | 主 剤 該当しない<br>硬化剤 該当しない   |
| 使 | 用 方 法           | 1) セット単位または、主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。<br>2) 主剤と硬化剤を、均一になるまで十分に混合攪拌する。<br>3) さらに、攪拌容器を換えて2回目の攪拌を行う。<br>4) フィンガーシール促進剤は、2回目の攪拌時に所定量を加え、十分に混合攪拌する。<br>5) フィンガーシールプライマーの指触乾燥後、フィンガーシールを流し込み充てんする。          |
| 使 | 用 上 の 注 意       | 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)<br>2) 配合比が1 2 : 1 なので混合攪拌は十分に行い、容器を換えての2回攪拌を行う。<br>3) 促進剤は、可使時間が短くなるので、2回目の攪拌時に加える。<br>4) 可使時間内に作業を終了する。<br>5) シンナーや水を混入して使用しない。<br>6) プライマーとして、フィンガーシールプライマーを使用する。 |

|       |
|-------|
| ⚠ 注 意 |
|-------|

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。</li> </ol> |
|--|